



まちづくり情報サイト

「街元気」は、まちをもっと元気にしようとまちづくりに頑張る人を応援します



Tweet



サイトマップ

イベント・メルマガ

研修・オープン会議

学習教材・統計

コラム・事例紹介

タウンプロデューサー

まちづくり掲示板

政策関連情報

このサイトについて

コラム・事例紹介

ホーム > コラム・事例紹介 > 街と、人と、生きていく。 マチビト > 音楽のまちづくり“おとまち” 佐藤 雅樹さん

街と、人と、生きていく。 マチビト

まちづくりコラム

タウン誌事例集

マップ事例集

取組事例

地図から検索

音楽のまちづくり“おとまち”

佐藤 雅樹（さとう まさき）

（株式会社ヤマハミュージックジャパン 事業開発部長おとまちプロデューサー）

美術系大学を卒業後、ヤマハ株式会社に入社。

インテリアや環境音のデザインなどを経て、人と人、人と様々なモノをつなぐデザインの在り方、影響力について考え始める。

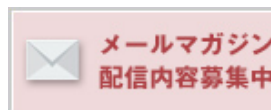
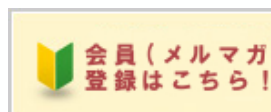
2009年より、音楽が持つ「人と人をつなげる力」を使って、地域リソース活用による多様な市民文化活動のプロデュースを通じ、ソーシャルキャピタルの醸成と、より多くの人々が交流するまちづくりを目指す「音楽の街づくり“おとまち”」を推進。

地域の活性化、価値向上に取り組む企業や自治体に対してのコンサルティングを展開している。



シェアする

Tweet



🔍 サイト内検索

検索

🔍 もっと詳しく検索する



－音楽の街づくり“おとまち”がいま注目を集めています。御社がまちづくりを手掛けるに至ったきっかけとは何でしょうか－

ヤマハという会社には、社会とのつながりを大切にするという“企業のDNA”があります。日常に音楽を普及させるという社会性のある目的の一翼を担いながら、これまで事業を拡大させてきました。しかし、少子化の波が訪れ、習い事や趣味も多様化し、また企業が自社の商品を守るためだけにイベントを仕掛けるような風潮も薄れつつあります。このような社会情勢の変化を受け、いま一度原点に立ち返り、音楽の持つ価値、ヤマハとしての社会への貢献の仕方など、あらゆる方向から真剣に考えました。

そういった中、社員から、「コンサートホールの方に楽器を購入して頂きましたが、『もっと有効に楽器や施設を活用するために、これからどのようなことを行えば良いのでしょうか』といった相談も最



近は増えてきています」との話がありました。そのコンサートホールに訪れている人も年々減少しつつあるようでしたので、まずは“どうやったらコンサートホールに足を運んでもらえるようになるのか”ということから検討を始めました。コンサートホールで待っているよりも、外に出てみようと。いったんコンサートホールのことは置いておき、音楽はコミュニティそのものであるという考えから、屋外で、市民の方々が音楽を楽しめるおとまちのコンセプトの外形ができあがりました。



1 2 3 4

登録日 2016年3月31日（木曜）00:00

[よくあるご質問](#) [サイトマップ](#) [お問い合わせ](#) [リンク・バナーについて](#) [ご利用規約](#) [個人情報の取り扱いについて](#) [個人情報保護方針](#)

経済産業省（法人番号 4000012090001）
主催／経済産業政策局 中心市街地活性化室 事務局／株式会社 野村総合研究所
Copyright © Ministry of Economy, Trade and Industry.



コラム・事例紹介

ホーム > コラム・事例紹介 > 街と、人と、生きていく。 マチビト > 音楽のまちづくり“おとまち”

街と、人と、生きていく。 マチビト

まちづくりコラム

タウン誌事例集

マップ事例集

取組事例

地図から検索

音楽のまちづくり“おとまち”

－社内の反応はいかがだったでしょうか－

コンセプトの実現に向けて、まずは社内で相談しましたが、でもすぐに「それって儲かるの？どこにニーズがあるの？」と尋ねられました。会社として、目の前のミッションはピアノなどのハードを売ることです。

新しい取組ですので、すぐに理解してもらうことは難しいかもしれないとある程度予想はしていました。そこで、時代背景も変化し、ヤマハに対する世間の見方も変わりつつあること、音楽の価値をもとに新しい取組を創造すべきであることなど、社内で丁寧に説明しました。みんな同じ社員、同じ企業のDNAを持っています。やがて音楽を使って新しいコミュニティを生み出すことの意義を共有でき、活動に賛同してくれました。



－その後、すぐに活動が進んだのでしょうか－

ログイン

会員（メルマガ）登録はこちら！

メールマガジン
配信内容募集中

マチイベ！
－街のイベント－
掲載依頼募集中

サイト内検索

検索

もっと詳しく検索する

このようにコンセプトが固まったところで、おとまちをさらに具体化していく必要がありました。その際、すでにお付き合いのあるコンサートホールの方と一緒に、3年から5年のスパンを見据え、取組を検討する中で、コンサートホールは実に様々な課題を抱えていることが分かりました。テレビの深夜番組でコンサートの演目紹介をしていることがありますが、テレビコマーシャルを流すことで宣伝費用がかかりますので、それが原因で赤字が確定するケースが少なからずあるそうです。このことから、マスメディアを通じて、コンサートホールに足を運んでもらうようなやり方以外も検討する必要があるのではないかと考えました。他にも、わざわざ有名なアーティストなどをお招きしても、一過性の取組ということもあるかもしれません。

そういった中、私たちは「参加型」という切り口に注目しました。地域に根ざすコミュニティ創出のためには、その地域の人と一緒に音楽でコミュニケーションする機会をつくることが大切だと思います。最初はコンサートホールを入り口に考えていましたが、別にホールでなければ音楽ができないわけでもありません。最初に音楽があって、その音楽を聴く場のひとつとしてホールがあるのです。つまり、コンサートホールの外で音楽をやってもよいのではないかと、音楽を知ってもらい、音楽を楽しみ、最終的にコンサートホールもそのひとつとして活用してもらおう方が良いといえます。ホールの大規模なハード整備も数多く行われてきましたが、数千人の聴衆だけにしか享受できないのであれば、あまりにも小さいコミュニティだと感じます。それよりも地域の人たちと一緒に活動することで継続性も生まれてくると思います。

1 2 3 4

登録日 2016年3月29日（火曜）00:00





[よくあるご質問](#) [サイトマップ](#) [お問い合わせ](#) [リンク・バナーについて](#) [ご利用規約](#) [個人情報の取り扱いについて](#) [個人情報保護方針](#)

経済産業省（法人番号 4000012090001）

主催／経済産業政策局 中心市街地活性化室 事務局／株式会社 野村総合研究所

Copyright © Ministry of Economy, Trade and Industry.



まちづくり情報サイト

「街元気」は、まちをもっと元気にしようとまちづくりに頑張る人を応援します



Tweet

サイトマップ

イベント・メルマガ

研修・オープン会議

学習教材・統計

コラム・事例紹介

タウンプロデューサー

まちづくり掲示板

政策関連情報

このサイトについて

コラム・事例紹介

ホーム > コラム・事例紹介 > 街と、人と、生きていく。 マチビト > 音楽のまちづくり“おとまち”

街と、人と、生きていく。 マチビト

まちづくりコラム

タウン誌事例集

マップ事例集

取組事例

地図から検索

音楽のまちづくり“おとまち”

－おとまちとして、どのような活動を行ったのでしょうか－

おとまちは5年以上にわたって、全国の様々な地域で活動を行ってきました。直近の事例としては、例えば、「渋谷ズンチャカ！」があります。「渋谷区を1日だけの音楽解放区に」というコンセプトのイベントであり、2015年8月9日、メイン会場の「みやしたこうえん」を中心に、ヒカリエや桜丘など渋谷一帯にて音楽イベントを開催しました。まちなかにステージを設営し、プロ、アマ様々な方が演奏し、渋谷を訪れた人たちと一緒に歌ったり、踊ったりすることができます。また、「まちなか音楽パレード」では、楽器を演奏しながら、およそ300人の方と一緒にまちを練り歩いたりしました。楽器を演奏する、しないに関わらず、すべての方々が音楽に触れることを目的としていますので、バンド体験や手作り楽器を使ったワークショップなども行いました。



－実行に至るまでにどのような工夫を行われたのですか－

ログイン

会員（メルマガ）登録はこちら！

メールマガジン
配信内容募集中

マチイベ！
－街のイベント－
掲載依頼募集中

サイト内検索

検索

もっと詳しく検索する

2013年11月、当時の渋谷区長から「未来に向けて発展する渋谷を音楽の観点から盛り上げることができないか」との相談がありました。渋谷の将来を見据えながら、渋谷の持つ特長やユニークさを発揮したいと思い、「市民参加型音楽祭」というコンセプトを区長に提案しました。

市民参加型ですので、おとまちの他、渋谷区、さらにはNPO法人シブヤ大学によるプロジェクトチームを発足し、プロジェクトチームサポートのもと、市民の方々が主導してイベントを企画・運営を行う体制を作りました。2014年7月にはプレイベント、2015年8月にメイン会場であるみやしたこうえんの他にまちなかステージを設けるため、クラウドファンディングで資金調達（目標の157%を達成）し、第一回「渋谷ズンチャカ！」を開催、多くの方にご参加頂きました。

この取組にプロジェクトチームの他、多様な主体が後押ししてくれており、実行委員会には渋谷駅近くの商店会会長や商店街振興組合の理事長、商店主の方にご参加頂くほか、周辺住民への告知や協力要請なども積極的に行って頂きました。また、市民ボランティアの活躍も大きく、「渋谷のまちをもっと良くしたい」という強い想いを持つ多くの方々に、企画、運営に携わって頂いています。



1 2 3 4

登録日 2016年3月31日（木曜）00:00





[よくあるご質問](#) [サイトマップ](#) [お問い合わせ](#) [リンク・バナーについて](#) [ご利用規約](#) [個人情報の取り扱いについて](#) [個人情報保護方針](#)

経済産業省（法人番号 4000012090001）
主催／経済産業政策局 中心市街地活性化室 事務局／株式会社 野村総合研究所
Copyright © Ministry of Economy, Trade and Industry.



まちづくり情報サイト

「街元気」は、まちをもっと元気にしようとまちづくりに頑張る人を応援します



Tweet



サイトマップ

イベント・メルマガ

研修・オープン会議

学習教材・統計

コラム・事例紹介

タウンプロデューサー

まちづくり掲示板

政策関連情報

このサイトについて

コラム・事例紹介

ホーム > コラム・事例紹介 > 街と、人と、生きていく。 マチビト > 音楽のまちづくり“おとまち”

街と、人と、生きていく。 マチビト

まちづくりコラム

タウン誌事例集

マップ事例集

取組事例

地図から検索

発明の時代へようこそ！－空き地は宝物－

－今後、どのような活動を展開されていくことをお考えですか－

まずは、「おとまち」というプラットフォームができたと考えています。「渋谷ズンチャカ！」以外にも「春日野音楽祭（奈良県奈良市）」、「フォレストシティビッグバンド（千葉県船橋市）」、「ジャズの街・岡崎（愛知県岡崎市）」など様々な活動を全国各地で進めさせて頂き、その結果、ノウハウとネットワークを蓄積することができました。

今後もこの活動を継続させていくためにはもう一段足腰のしっかりしたビジネスモデルとしてレベルを上げることが必要だと感じています。同時に、参加する市民が納得できる、そして参加していない市民が参加したくなる仕組みにしていける必要があります。そして最終的には、この活動を全国に広げていけたらと思っています。

また、地域のコミュニティバンドが全国津々浦々に存在するような状況になると、地域に音楽はもっと根付くと思います。転勤しても、Uターンしても、その地にあるコミュニティバンドをきっかけに地域で新しい関係性が生まれ、安心して暮らせる。個人的にはそのような社会になると良いと思います。



ログイン



会員（メルマガ）登録はこちら！



メールマガジン
配信内容募集中



マチイベ！
－街のイベント－
掲載依頼募集中

🔍 サイト内検索

検索

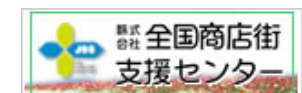
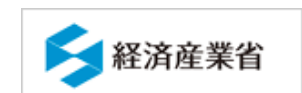
🔍 もっと詳しく検索する



[f シェアする](#) [Tweet](#)

1 2 3 4

登録日 2016年3月31日（木曜）00:00





[よくあるご質問](#) [サイトマップ](#) [お問い合わせ](#) [リンク・バナーについて](#) [ご利用規約](#) [個人情報の取り扱いについて](#) [個人情報保護方針](#)

経済産業省（法人番号 4000012090001）
主催／経済産業政策局 中心市街地活性化室 事務局／株式会社 野村総合研究所
Copyright © Ministry of Economy, Trade and Industry.